

あなたの色で輝こう ～可能性は∞(無限大)～

久美高だより

第7号

発行 平成30年11月

京都府立久美浜高等学校
住所 京丹後市久美浜町橋爪65番地
電話 0772-82-0069

平成30年度 生徒会の取組スタート!

新メンバーで始動しました!
生徒総会

10月、生徒会役員選挙を経て新生徒会長に就任した2年岸本優也くん(久美浜中学出身)を中心に、新生徒会が始動しました。



丹後府立高校・

与謝の海支援学校 交流会

10月27日(土)、与謝の海支援学校の生徒と、丹後通学圏の府立高校生との交流会が今年も行われました。今回、久美浜高校からは吹奏楽部、軽音楽部、生徒会本部役員、そして企画運営から携わった交流委員の生徒たちが参加しました。

吹奏楽部は開会式で峰山高校・加悦谷高校の生徒と5曲を演奏。その後の分科会では、7つのグループに分かれて活動しました。本校の交流委員は、ポッチャと呼ばれるパラスポーツの企画運営を行いました。他にも、卓球バレーや視覚障害のある人の歩行を体験する場等も設けられました。閉会式では軽音楽部の演奏とリードで参加者全員が4曲を歌いました。

どの場面においても多くの笑顔が見られました。生徒達は、普段の学校生活ではできない経験を通して、多くの刺激を受けて沢山のことを学んだようです。



国際交流! ソリョン高校(韓国)との交流事業

10月18日(木)から20日(土)にかけて、久美浜高校生4名が韓国ソサン市にあるソリョン高校と交流しました。この両校での交流事業は、今年10年目を迎え、今回はカヌー部員3名、一般生徒1名が現地を訪れました。

ソリョン高校では、教職員・生徒の皆さんに大歓迎をしていただきました。中でも、カヌー部や日本文化サークルの生徒との交流は、生徒たちの心に残ったようです。その他にも2日間の日程の中では、ソサン市庁舎を訪問して市長と面会したり、ソウル市内観光や歴史的に非常に価値のある建造物を見学したりすることもできました(写真)。また、多くの韓国食文化にも触れる機会となるなど、生徒にとって実り多い交流事業となったようです。今後の生活にどう生かしてくれるか楽しみです。



中学生の皆さん、春にまたお逢いしましょう!

よし!くみこうに決めた!! 久美浜高校 学校公開を実施しました。

11月10日(土)に学校公開を開催し、丹後全域から74名の中学生の参加がありました。中学生にとっては高校入学者選抜に向けて、進路選択の大切な時期になっています。中学生及び保護者の皆様に、本校の魅力をしっかりお伝えしました。

まず、全体会では在校生による系列紹介を行いました。総合学科である本校の4つの系列(文理特修系列、教養系列、生産科学系列、福祉系列)で学んでいるそれぞれの生徒から、自分がその系列を選択した理由や現在頑張っていること、そして将来の夢などについて話をしました。その後、入試制度の説明を行い、前期選抜で求める生徒像や配点について、中期選抜のSTEP1・STEP2での選抜方法について詳しく説明しました。

次に本校の特色ある授業の参観をしてもらいました。1年生の「コミュニケーション英語I」、教養系列の「器楽」、生産科学系列の「草花」、福祉系列の「生活支援技術」の授業の中から2つの講座を選択してもらい、少人数講座でのていねいな授業や、農業や福祉の専門的な授業を観てもらいました。

そして、今回は初の取組となる「生徒交流会」を行いました。これは、中学生と本校の在校生が直接話をして、気になる質問について在校生が答える場にしました。系列ごとに分かれた在校生3名と中学生6~7名が1つのグループになり、フリートークで交流しました。時間を区切って席替えをして、たくさんの生徒と交流ができました。最初は緊張もあり会話が途切れているグループもありましたが、打ち解けるにつれて、時間が足りなくなるほど会話がはずんでいました。

最後に、部活動体験・見学をしてもらいました。実際の高校生の練習を見て、クラブの雰囲気や、技術のレベルについて体感してもらうことができました。

本校について、お問い合わせがありましたら、いつでも御連絡ください。必要に応じて中学校を訪問し、説明させていただきます。



京都府立久美浜高等学校 検索

学校行事や生徒の活躍等、詳細はホームページで、随時紹介しています。ぜひ、御覧ください。

体験で学ぶ！楽しむ！特色ある授業の取組

知的好奇心をくすぐる大学の授業を体験



10月31日(水)、2年文理特修系列では京都府教育委員会の「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」事業で、京都大学大学院理学研究科の松岡廣繁 助教をお招きし、「動物の骨と筋肉の仕組み」というテーマで講義していただきました。



約20種類もの動物の頭骨の標本を持ってきていただき、生徒たちは実際に手に取り、スケッチをしてじっくりと観察し、動物によって目の位置や歯の形に違いがあることや、生活スタイルが似ていると形が似ていることなどを学びました。



福祉系列 実習報告会

10月29日(月)、夏季介護実習での学びについて、福祉系列2・3年生24名が報告しました。報告は「介護総合演習」の授業で各自がテーマを設定し、実習体験を振り返り、まとめていきました。この報告会では、実習の受け入れ施設の指導者の方もお招きし、一人一人に丁寧な講評をしていただきました。学習した内容をより深化させる機会となりました。

てとて文化祭に参加

11月3日(土)に、京丹後市聴覚言語障害者地域活動支援センター「てとて」で行われた文化祭に、手話・点字の授業を選択している3年生5名が参加しました。午後に行われた発表では、「ひまわりの約束」を手話で表現しました。4月から始めた学習ですが、生徒たちは熱心に取り組んでいます。当日はたくさんの温かい御言葉をいただき、ありがとうございました。



茶道体験

10月に3年学年部では全員が順番で茶道体験を行いました。茶道部の外部講師の増田妙子先生の指導のもと、お茶席への入室の方法、おじぎやお茶のいただき方など茶道の作法を学びました。

3年生の高校生活は残りわずかとなりました。学年部では、総合的な学習の時間などを活用し、社会で役立つ様々な知識や体験を積み重ねていく予定です。

スポーツの秋！ 持久走大会・クラブ活動

持久走大会

10月25日(木)、快晴の中でレースを実施しました。生徒達は、本番に向けて体育の授業で一定量の距離を走り込んで当日を迎えました。

一人一人が自分のペースを考えて走ったり駆け足で進んだり制限時間内にゴールできるよう、頑張りました。ゴールした生徒の中には、後に続く生徒を激励して迎えたり、もう少しで上位入賞だったことを悔やんだりする者もいました。久美浜高校では、男女20位までがそれぞれ個人表彰を受け、さらにクラス表彰も行われます。



カヌー部 オリンピック金メダリストと交流！

10月11日(木)から14日(日)にかけて、カヌースプリント競技のドイツ代表チームが久美浜湾へ来られました。

京丹後市は、2020東京オリンピック直前合宿地としてナショナルチームに滞在してもらうべく、「ホストタウン事業」を進めておられます。今回、ドイツ代表チームが久美浜湾カヌー競技場を候補地として検討されており、その視察合宿として来日されていました。

現在のドイツチームには、オリンピックメダリストが揃い、中にはロンドン、リオ五輪の金メダリストもおられます。カヌー部の生徒たちは、そんな世界最高レベルの選手たちとカヌーを漕ぐという貴重な経験を通じて、さらにモチベーションが上がった様子でした。

陸上競技部 京都府高校ジュニア大会3名入賞



10月7日(日)から8日(月)に第53回京都府高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会が西京極陸上競技場にて開催されました。本校から7名が出場し、男子やり投において岸本優也くん(久美浜中学出身)が、女子やり投において後藤瑞季さん(丹後中学出身)が共に3位に入賞し、表彰台に立ちました。また、金久聖くん(弥栄中学出身)が男子棒高跳で8位に入賞しました。

本大会は、京都府の高校全体では今シーズン最後の大会であり、来年に向けて良い締めくくりができました。今後は、一回りも二回りも成長して来シーズンを迎えられるよう、冬季練習に励みます。